科目ナンバリング	U-LAS01 10003 LJ38						
授業科目名 <英訳>	日本史II Japanese History II			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 東　幸代		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	歴史・文明(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	木3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本講義は、「大地の支配と利用からみた日本近世」をテーマとする。

日本近世がどのような歴史的特徴を有していたかを、耕地や山・野・河・海の支配や利用のあり方を素材として講じる。関西地域を検討対象とする。
また、近世社会の一般的な仕組みや他地域の様相など、近世社会を理解する際の基礎となることがらについても、適宜言及していく。

[到達目標]

日本近世社会の特徴を説明できるようになる。

[授業計画と内容]

1　ガイダンス
2　近世領主と石高制①
3　近世領主と石高制②
4　近世領主と石高制③
5　近世領主と石高制④
6　村と石高制①
7　村と石高制②
8　村と石高制③
9　村と石高制④
10　琵琶湖と石高制①
11　琵琶湖と石高制②
12　琵琶湖と石高制③
13　琵琶湖と石高制④
14　まとめ
≪試験≫
15　フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

評価は定期試験（筆記・論述）と平常点（コメントシート提出）による。試験での持ち込みは認めない。配点比率は、定期試験90%、平常点10%とする。

日本史II(2)へ続く↓↓↓

日本史II(2)

[教科書]

授業中にレジュメを配布して説明する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

日本近世社会に関するイメージをもってもらうために、講義前や講義期間中に、高校日本史の教科書や近世に関する通史などを読んでおくことが望ましい。講義中にも適宜紹介する。

[その他（オフィスアワー等）]

日本史についての概括的な理解が得られていることが望ましいが、興味や関心がありさえすれば、理解可能な講義を心がける。また、文系だけでなく、理系の受講生にも関心を持ってもらえるような授業にしたい。